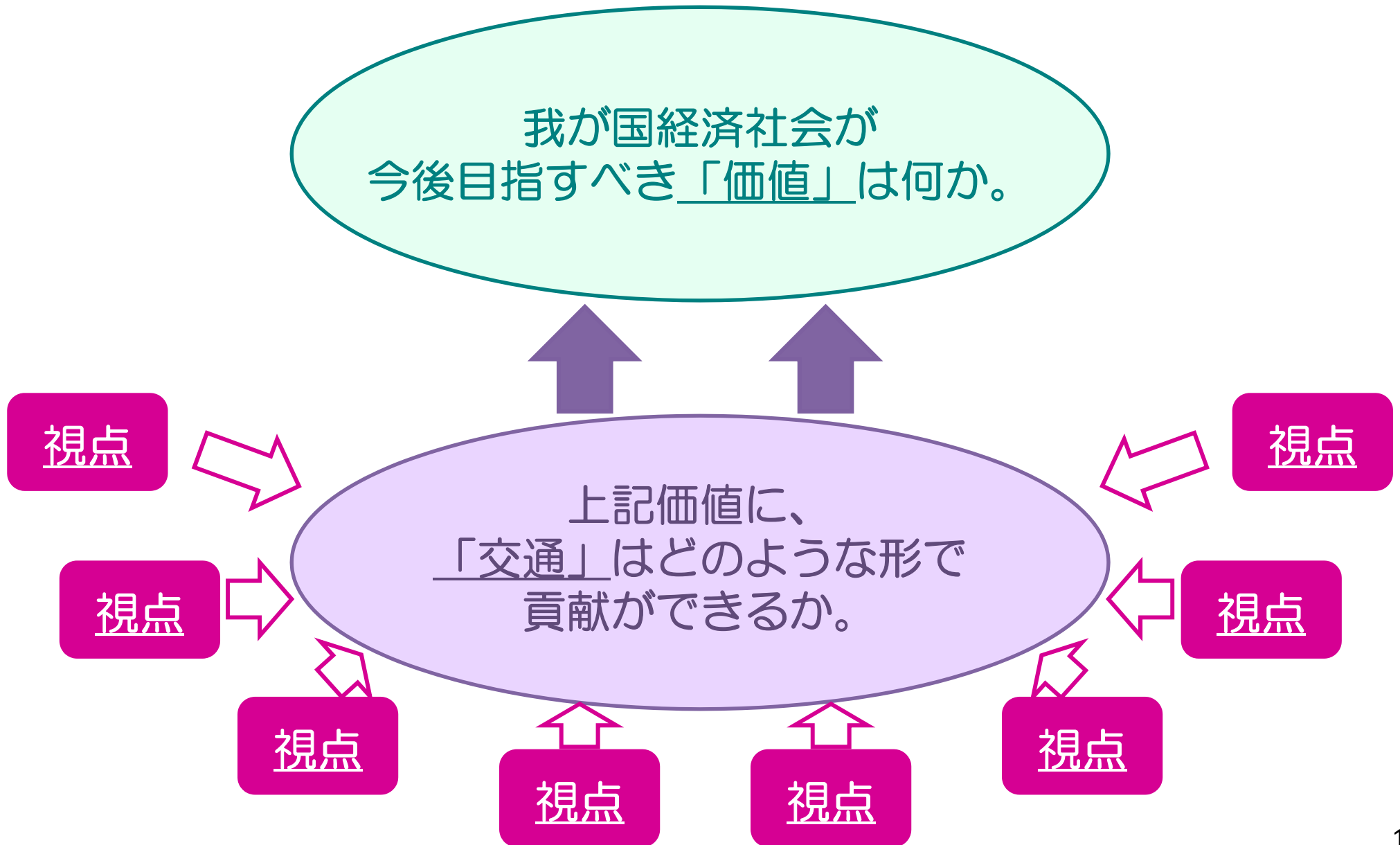


# これまでの自由討議を振り返って

---

国土交通省  
平成23年12月

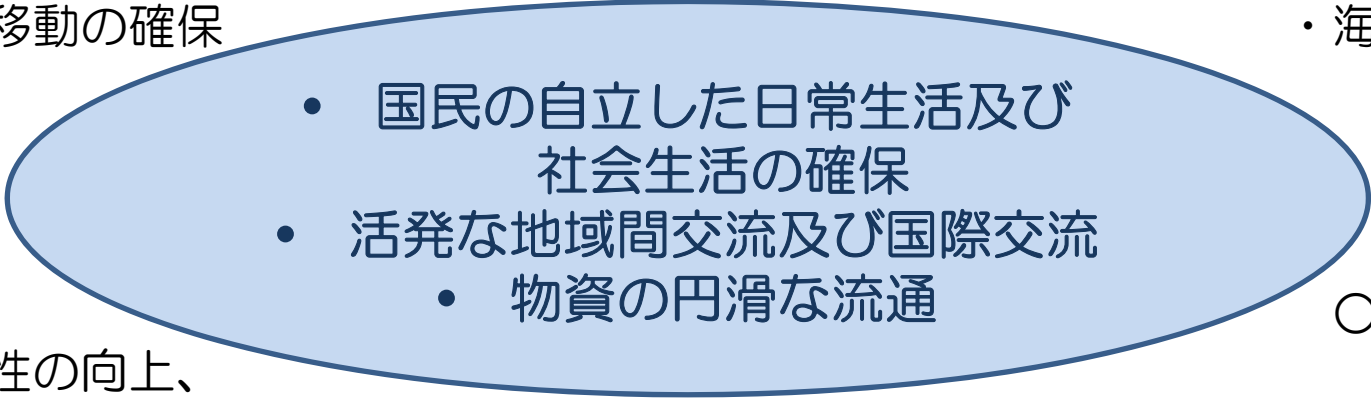
# これまでの自由討議を振り返って（総論）



## 我が国経済社会が今後目指すべき「価値」は何か。

- 人口減少・少子高齢化社会への適応
- 経済の持続的で安定的な成長  
(国際競争力の確保・向上、地域の活性化)
- 低炭素・循環型社会の実現
- 安全・安心の確保 (バリアフリー、防災)
- . . . . .

# その価値に、「交通」はどのような形で貢献ができるか。

- 我が国経済社会の  
変革の原動力
  - 文化の維持、創出
  - 健全なモビリティ社会の発展
  - 日常生活に必要不可欠な交通手段の確保
  - 高齢者、障害者等の  
円滑な移動の確保
  - 交通分野の国際協力  
・海外展開
  - 交通の低炭素化  
・低騒音化等
  - 交通の利便性の向上、  
円滑化、効率化  
(定時性、速達性、快適性、連携・シームレス化)
  - 交通のセキュリティの向上
  - 交通手段の多重化・相互補完化
  - . . . . .
- 
- 国民の自立した日常生活及び  
社会生活の確保
  - 活発な地域間交流及び国際交流
    - 物資の円滑な流通

## その際には、どのような「視点」が不可欠か。

- 利用者の目線
- 自家用・私的交通の位置づけ、パーソナルモビリティとシェアリング
- 旅客交通と物流の問題の所在の相違と一体的な検討の必要性
- まちづくりの観点（コンパクトシティ、土地利用）
- 観光立国実現の観点
- 可能な限りの市場原理の活用、効率性の追求
- 必要な場合の公的関与
- サービス水準とコストのトレードオフ
- 現状の適切な把握（国際的な立ち位置、統計の充実）
- 時間軸（中長期的視点と短期的視点）
- 施策の安定性
- 弛まざる検証、費用対効果
- 情報公開、住民の自覚と参加
- 既存資源の有効活用
- ICT、最新技術の活用
- 交通関係者間の競争と連携・協働（常時の競争、非常時の協働）
- Competition in the marketとCompetition for the market
- 国と地方（都道府県、市町村）の役割分担
- 地方自治体における人材の確保・育成
- 交通産業における人材の確保、労働環境の整備
- 交通以外の分野（福祉等）との連携・協働
- 交通手段の選択に係る競争及び利用者の自由な選好
- 供給側の視点
- 交通関連法制、約款の重要性
- 教育の重要性
- 国際標準を踏まえた規格への対応
- 交通の環境負荷
- バリアフリー、ユニバーサルデザイン
- . . . . .